

昇天におけるキリストのビジョンと経験 (1)

キリストは就任し、引き上げられ、御座に着いて

彼のからだを通して神の宇宙的な行政を執行し、神の新約エコノミーを遂行する

聖書：使徒 2:33, 36. 5:31. 10:36. ピリピ 2:9-11. ヘブル 12:2

I. キリストは彼の昇天において、就任し、引き上げられ、御座に就いて、神の宇宙的な行政を執行し、神の新約エコノミーを遂行しています——使徒 2:33, 36. 5:31. ピリピ 2:9. 啓 5:6 :

- A. キリストの昇天は、キリストが天の務めのために天の職務に就任することでした。これらの職務は、彼が万民の主（使徒 10:36）、キリスト（2:36）、元首また救い主（5:31）、地上の諸王の支配者（啓 1:5）、召会のかしら（エペソ 1:22-23）、奉仕者（ヘブル 8:2）、大祭司（4:14-15. 7:25-27）であることを含みます：
1. ナザレ出身のその人が昇天において就任して、万民の主となりました——マタイ 2:23. 使徒 3:6. 10:36. 22:8. 26:9。
 2. 彼の就任は一つの長い過程を必要としました。それは、創造から始まり、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活をもって継続しました。
 3. キリストは神また人として、創造主また被造物として、贖い主、救い主、命を与える霊として、昇天において就任しました。そして神の宇宙的な行政を執行し、神の新約エコノミーを遂行しています。
- B. キリストの昇天は、神が彼を引き上げることでした——2:33 :
1. 主イエスはご自身を極みまで低くしましたが、神は彼を最も高い所まで引き上げました——ピリピ 2:7-9。
 2. 昇天において、キリストは神が引き上げた方であり、あらゆる名にまさる名を受けた方です——9-11 節：
 - a. 宇宙で最高の名、最大の名は、イエスの御名です。すなわち、肉体と成り、十字架につけられ、復活し、昇天し、引き上げられた方の御名です。
 - b. 神は人なる主イエスを彼の昇天において主としました。こういうわけで、あらゆる舌は彼が主であると言い表すのです——使徒 2:36. ピリピ 2:10-11。
 3. 昇天において、キリストは栄光と尊貴を冠として与えられました——ヘブル 2:9。
 4. 昇天において、キリストは就任して宇宙のかしらとなりました。全宇宙のかしらはイエスです——コロサイ 1:18. エペソ 1:22-23。
- C. 昇天において、キリストは御座に着きました。そして神の宇宙的な行政を執行し、神の新約エコノミーを遂行しています——啓 5:6. エペソ 1:10 :
1. キリストが神の御座の右に座ることは、彼が御座に着いたことを示しています——ヘブル 12:2. 使徒 2:33。
 2. キリストは今や御座にいて、宇宙全体を執政管理しています。彼は唯一の執政管理者であり、王の王であり、主の主です——啓 19:16。
 3. キリストの執政管理は宇宙と関係がありますが、彼が神の新約エコノミーを遂行することは、彼ご自身を増殖させて、彼の複製とし、召会すなわち彼のからだを

建造することです——マタイ 16:19. 28:19. 使徒 1:8。

II. キリストの増殖の働きは、彼の昇天の中にあります——マタイ 28:19. 使徒 1:8 :

A. 使徒行伝の主題は、復活したキリストが、昇天において、その霊により、弟子たちを通して、諸召会（神の王国）を生み出すための増殖です——3節 :

1. 復活したキリストが彼の昇天において増殖することは、諸召会を生み出します——8:1. 13:1. 14:23。

2. 復活したキリストが彼の昇天において生み出した諸召会は、神の王国です——19:8。

B. 増殖は、天の御座におられる主によって遂行されます。これは、彼の増殖の働きが昇天の中にあることを意味します——2:33, 36. ヘブル 12:2. 啓 5:6 :

1. 昇天は、主の地上の働きの性質と範囲です。

2. 今日、主の回復における主の働きは、昇天の中にある働きであるべきです。すなわち、天的な性質を持ち、天的な範囲の中にある働きであるべきです。

III. 昇天したキリストが神の宇宙的な行政を執行し、神の新約エコノミーを遂行するのは、彼のからだを通してです——エペソ 1:22-23 :

A. 召会はキリストのからだであるので、召会の地位は昇天したキリストの地位と完全に同じであることを、わたしたちは見る必要があります——コロサイ 1:18. 2:19.

I コリント 12:27 :

1. からだはキリストのからだです。キリストは御座に着き、天においても、地においても、さらには地下においても、主権と権威を与えられている方です。

2. 彼はすべての権威を受けており、わたしたちはからだとして彼と一体化しています。ですから、わたしたちは天上におり、わたしたちには権威があり、またわたしたちはその権威を行使することができます——エペソ 1:19-23. 2:6 :

a. からだの権威はからだが行使するかしらの権威です。こういうわけで、からだの権威はかしらの権威です。

b. わたしたちは召会、キリストのからだとして、復活し昇天したキリストの権威を行使する必要があります——マタイ 28:18-19 前半. ルカ 10:19。

B. キリストが神の行政を執行し、神のエコノミーを遂行するのは、召会の祈りを通してです——マタイ 6:9-13. 使徒 12:5 後半 :

1. キリストのからだとしての召会の祈りは、昇天した主またからだのかしらとしてのキリストの権威を行使して、神のエコノミーを成就する祈りです——エペソ 1:10. マタイ 6:9-13。

2. 召会の祈りの中心目標は、神の永遠のエコノミーの目標です。すなわち、キリストが栄光の召会を彼の配偶者として得て、彼が満足するという目標です——エペソ 5:27。

3. 使徒行伝は、使徒たちの働きが完全に神に依り頼んで成されたものであったことを啓示しており、この事は彼らの祈りによって示されています。彼らは自分自分を神の中へと祈り込み、また神を彼らの中へと祈り込みました——1:14. 2:1-4. 4:24-31. 6:4. 10:9-16. 12:4-14. 13:1-4. 16:23-26. 22:17-21。

C. キリストが神の行政を執行し、神のエコノミーを遂行するのは、わたしたちが命の

働きを行なうことによって、昇天したキリストの行動に同労することを通してです。
すなわち、命の中で福音を推し広める行動に同労することを通してです
—— 8:26-29. 9:10-11. 10:1-3, 9-22。

© 2014 *Living Stream Ministry*